


交通ネットワークの充実・強化と本県の活性化について

令和4年1月11日
みらい企画創造部

<基本的な方向性>

- ①本県発展に向けた高速交通の充実・強化（新幹線・航空等）及び地元利用者・来訪者双方にとって利便性の高い地域交通の実現を目指す。
- ②交通サービスの接続性を重視し、特定地域の「点」、沿線地域の「線」、県内全域の「面」の発展に繋げていく。
- ③ウィズコロナ・アフターコロナの新たな需要の創出を図っていく。

※資料中、の囲みのある取組みは、当部が関わったもの
※各取組み等に付した①～③は、上記方向性のうち主に該当するもの



・「飛島スマートアイランドプロジェクト」を展開（オンライン注文やeモビリティを活用して、島内の移動困難者の日用品配送や観光客等への食事配送等の実証実験を実施）：①



最上地域

◎地域資源の掘り起しと効果的な魅力発信により、新庄駅を玄関口に地域を活性化

新庄駅と最上広域交流センター（ゆめりあ）

・新庄駅併設の「ゆめりあ」では、鉄道ギャラリーやコワーキングスペースの開設など、賑わい創出に向けたプロジェクトが進展：②



庄内地域

・酒田港の東ふ頭上屋を新たな交流拠点として、今年4月にリニューアルオープン予定：③

庄内空港

- ・東京便が4往復就航：①
- ・二次交通は、酒田/鶴岡方面のバスと乗合ジャンボタクシーの他、秋田県仁賀保方面の乗合ジャンボタクシーも運行：②
- ・空港に親しみを感じてもらい、利用拡大に繋げるため、「庄内空港ファンクラブ」の今年度内の設立に向け準備中：③



10/8 庄内北前ガニ輸送（陸羽西線～山形新幹線）：②



◎庄内ならではの豊かな地域資源と航空や鉄道（新幹線・特急・在来線の結節性）をフル活用し、地域を活性化



村山地域



・大石駅から車で約15分の徳良湖周辺は、研修施設や温泉・レジャー施設が揃い、ワーケーション誘致のポテンシャルが大：③

山形空港

- ・東京、大阪、名古屋、札幌の4路線が就航：①
- ・二次交通も、山形市方面のバスの他、周辺市町（東根市・天童市・村山市・寒河江市・河北町）や観光地（蔵王温泉・銀山温泉・肘折温泉・湯殿山等）への予約制乗合タクシーが運行するなど充実：②
- ・山形空港と庄内空港/仙台空港の片道相互利用の促進のため、両空港間をレンタカーで移動した際の料金補助も実施：②



スタートアップステーション ジョージ山形、霞城セントラル、やまぎん県民ホール（山形市）：②

12/3 やまがたワーケーション新幹線：③

置賜地域



・南陽市沖郷地区は、交通空白地帯解消に向け、住民の負担金を基に乗用タクシーを活用した「おきタク」を運営（国交大臣表彰を受賞）：①



・フラワー長井線の利用促進・地域活性化に向け、高校生によるオリジナルスニーカーの開発やビデオフォトグラフによる動画制作等のプロジェクトを展開：③



- ・米沢駅2階の多目的室（米沢市所有）がコワーキングスペースに改修予定：②
- ・自然豊かな置賜の河川を活かした釣りケーション検討の動きもあり：③

◎製造業の集積・大学先端技術を活かした首都圏の企業等とのビジネス新結合を促進

◎フラワー長井線や豊かな歴史・文化、自然を活かして地域を活性化

① 福島～米沢間トンネル 全長23km!
⇒ 山形県経済の発展に直結!



山形新幹線つばさ：①



・山形市のコミュニティバス「ベニちゃんバス」や米沢市の市民バスでも交通系ICカード「Cherica」の利用が可能となる予定：①